

## 「手打小学校の手踊り伝承活動の取組」

### 1 学校名

薩摩川内市立手打小学校

### 2 学年・人数

手打小学校1～4年生（12人）

### 3 日時・場所

#### (1) 練習の日時・場所

【手打小学校1～4年生】

令和2年9月4日（金）、11日（金）、18日（金） 手打小学校運動場

〔令和2年9月11日（金） 伝承者による指導〕 手打小学校オープンルーム

#### (2) 発表の日時・場所

【手打小学校1～4年生】

令和2年9月19日（土） 手打小・海陽中・校区合同秋季大運動会

### 4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

#### (1) 名称

手踊り（ておどり）

#### (2) 由来

子岳地区の手踊りの由来ははっきりしないが、江戸時代から踊っていたと思われる。（下甕村郷土誌より）

#### (3) 構成等

構成員数は、踊り4人、太鼓1人、拍子木1人で構成される。ハンテンまたはハッピ、鉢巻、タスキ、博多帯、手甲足絆、足袋ワラジ、刀、扇子を身に着ける。口紅とおしろいで化粧する。

踊りの構成は、①出羽「太鼓と拍子木で踊る。」②中踊「刀を使って踊る。」③入羽「一人残って太鼓と拍子木でハ、ハ、ハ、ソラオイオイで終わる。」の順である。

### 5 保存会や地域との連携の具体策

手打小学校1～4年生には、伝承者が講師として来校し、毎年1～2時間程度指導していただいている。その後は、体育やふるさと・コミュニケーション科の授業で練習を行っている。

### 6 文化財伝承・活用の取組で工夫した点

学校が伝承活動に協力できるようにするために、また連携しながら伝承していけるようにするために、毎年地区との合同運動会で披露するようにしている。さらに、伝承者による指導時間が限られているので、4年生の児童がリーダーとなって、他の1～3年生の見本となって教えるようにした。

## 7 取組の様子（練習状況，発表の場等）



伝承者による指導



小・中・校区合同秋季大運動会での発表

## 8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想や意見

### 【2年生児童】

中野さんに手踊りを教えてもらいました。コツは手をピンとすることと、中腰にすることです。ぼくは、手をピンとしていないことがあるので、練習をして本番ではできるようになりたいです。

### 【4年生児童】

中野さんに教えてもらったコツを練習でやってみると、前よりも手踊りが上手になった気がしました。4年間ずっと踊ってきた手踊りを、1～3年生に教えてあげたいです。そして、運動会で地域の方の前でしっかりと踊りたいと思います。

### 【教職員】

今年も伝承者の中野さんが教えてくださり、太鼓のたたき方まで指導していただきました。子どもたちも、腰を落とすなど踊りに変化が見られました。この手踊りは、運動会で踊る伝統的な踊りであり、長年受け継がれてきました。上級生から下級生へ子から孫へと引き継がれたらいいなと思います。

### 【保護者】

それぞれの地域の前で踊っている姿がとてもよかったです。地域の伝統的な踊りを今後も、継承して行ってほしいです。

### 【保存会】

今年は、例年にも増して子どもたちの声に元気がありました。今は、動きがあと少しのところもあるけれど、あの元気な声だけで素晴らしいです。踊りも例年に比べて最初の練習にしては、十分に踊れています。あとは、今日練習したことを繰り返し練習するだけです。